

法令等遵守(コンプライアンス)・内部統制

法令等遵守(コンプライアンス)



方針・考え方

誠意ある健全な事業活動を通じ、企業価値の向上を追求していく上で、法令等の遵守は企業経営の基本であると考えています。私たちMAEDAは、持続可能な経営を行うために法令等遵守の体制を整備し、適切な運用を行っています。

当社は、2005年に「MAEDA企業行動憲章」を制定して以来、「コミュニケーションと情報開示」「公正な競争」「国際ルールの遵守」「企業倫理の徹底」をはじめとした法令等の遵守に努めるとともに、社会からの要請の変化に応じて当憲章の見直しを随時行ってきました。

長期的かつ安定的な成長を実現するためには、法令等の遵守に加え、ESG(環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance))に関する諸問題への取り組みを強化することが不可欠であるとの考えに立ち、2020年の改定では「真に豊かな社会の創造」「人権の尊重」「経営トップの率先垂範(実効あるガバナンス体制の構築)」を新たに行動憲章の項目として定めています。

マネジメント

法令等の遵守については、MAEDAグループ全体で活動推進に努めています。具体的には、「関係会社規程」に基づき、定期的にグループ会社との連絡会を開催するなど、相互に密接な連携のもとにグループ経営戦略を決定、経営を円滑に遂行し、グループ企業の総合的な事業の発展を図る経営体制を整えています。また、グループ各社のCSR・コンプライアンス体制の構築を継続的に推進しています。

前田建設では、法令遵守の徹底にあたり「法令リスク現場対応ワーキンググループ」を開催し、本店主管部門が把握している法改正情報の共有、社内伝達の要否検討、作業所への周知を実施しています。さらに、データベースに登録された安全、品質や環境で起こりうるリスク情報についても共有し、未然防止対策の立案、周知など、法的リスクの低減を図っています。

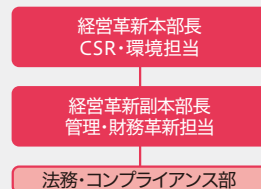
また、今年度より法務部を法務・コンプライアンス部に組織変更し、全般的なコンプライアンス教育およびコンプライアンス違反の疑いのある事項に対応する組織を明確にしました。

MAEDA企業行動憲章

2020年4月1日改定

1. 経営トップの率先垂範
2. 真に豊かな社会の創造
3. 人権の尊重
4. 魅力あるワーク＆ライフの追求
5. 公正な事業活動
6. ステークホルダーとの対話と公正な情報開示
7. 環境問題への取り組み
8. 社会参画と発展への貢献
9. 危機管理の徹底
10. 情報セキュリティを通じた社会との信頼関係

CSR・コンプライアンス推進体制(ラインのみ)



リスク管理

方針・考え方

企業を取り巻く社会環境の変化に伴いリスクを見直し、適切に対処することが、健全な事業活動を確保するとともに、ステークホルダーに対する社会的責任を果たす前提となるため、「MAEDAリスク管理方針」「リスク管理規程」に基づき、「MAEDA企業行動憲章」の実行を阻害するリスクを管理しています。

リスクマネジメント体制

リスク管理委員会は、四半期毎に本部、部門から社会動向と社内情報を収集の上、その結果を「リスク評価表」により見える化し、経営計画の遂行状況、内部監査結果などを勘案して見直した各リスク項目の影響度と頻度を「リスクマップ」に反映します。そして、リスク管理委員会の評価結果は、都度(四半期毎)取締役会に報告し、「リスクマップ」において顕在化した高リスク領域に留意した事業活動を展開するとともに、リスクにかかわる情報を「有価証券報告書」などにより適時・適切に開示します。なお、2021年3月末の情報をもとに有価証券報告書に開示した事業等のリスクは以下の通りです。

有価証券報告書において開示した事業等のリスク

(2021年3月末)

- 法的規制・コンプライアンスのリスク
- 製品・サービスの欠陥リスク
- 信用リスク
- 金融リスク
- 災害・気候変動リスク
- 経済・財政状況の変化に伴うリスク
- 情報セキュリティ・ICTリスク
- 海外事業に伴うリスク
- 事業戦略のリスク
- 資材調達リスク
- 偶発債務のリスク

内部統制

グループ全体の企業価値を継続的に高めていくためには、内部統制機能を充実させることが企業経営にとって不可欠であると認識しており、経営の効率性、健全性ならびに透明性の向上をめざして、経営体制の整備などを実施しています。

内部統制システム

内部統制の徹底のため、内部統制システムの基本方針を明確にし、社長を議長とした経営層による「CSR戦略会議」「リスク管理委員会」、執行部門から独立して監査を行う内部監査部門を設置するなど、内部統制システムの実効性を高めています。

コンプライアンス ホットライン (社内・社外通報窓口)

不正行為などの早期発見と是正、社内の法令遵守・倫理の確保および向上を目的に、CSR・環境担当役員を責任者とする内部通報制度を整備しています。外部機関を通報受付窓口とした「職場のほっとテレホン」では、当社社員の、法令違反やハラスメントなどに関する相談・通報を匿名で受け付けています。窓口については社内イントラネットの全社掲示板で周知をしています。また、当社WEBサイトには取引先など社外からの通報(匿名を含む)窓口を設置しています。

反社会的勢力の排除

当社では、反社会的勢力との関係遮断についても、内部統制の一環として整備しています。企業行動憲章においても同事項を規定し、社員研修の場で教育および周知・徹底を図っています。

BCP

当社は、第一に社員およびその家族の生命・安全を確保の上、施工中および引き渡し済みの現場の被害状況を把握するとともに、インフラ復旧などの社会的要請や周辺地域からの救助要請に応えることを事業継続に対する基本方針としています。また、当社は「事業継続計画書」を策定し、国土交通省関東地方整備局から認定を受けています。災害に備え、原則年1回BCP訓練を行っており、2020年度は11月20日に実施しました。

「事業継続計画書」では、感染症も懸念される災害等のリスクの一つとして認識しており、今般の新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応については、政府の方針等に基づき、お客さま・お取引先の皆さまや社員等の安全確保と感染拡大防止を最優先に、在宅勤務の徹底、不要不急の出張・移動・外出の禁止などの対策を行っています。建設作業所においては、当社の安全方針である「安全は会社の良心である」のもと、3つの密(「密閉空間」「密集場所」「密接場面」)を避ける対策の他、始業前の検温の実施および感染が疑われる社員・技能労働者の帰宅を徹底するなど、必要な対応を迅速に実施しています。

編集後記

この度は「サステナビリティレポート2021」をご覧いただき、ありがとうございます。

当社はあらゆるステークホルダーから信頼される企業となるために、今後10年でめざす姿「総合インフラサービス企業」に向けて歩みを進めています。今回の特集では、この企業像へのロードマップの第一歩である中期経営計画「Maeda Change 1st stage '19-'21」の進捗報告として、CSV経営の実践でめざす価値創出についてご報告しています。当社WEBサイトには、より多くの情報を加えたフルレポートとデータブック(PDF)を掲載していますので、ぜひあわせてご覧ください。

皆さまにMAEDAのこれまでの取り組み、そして将来めざす姿についてご理解いただくための一助となれば幸いです。また、社員の皆さまには、日々の業務と社会のつながりを改めて認識する機会となれば嬉しい限りです。

本レポートの作成にあたり多大なるご協力をいただきました皆さまに、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

CSR・環境部



本レポートにおける環境配慮

印刷物製造作成にあたり、サステナビリティレポートにおいては●●●kg-CO₂のCO₂を排出しています(1冊あたり約●●●g)。そこで、製造工程で使用する電力●●●kWhにバイオマス発電でつくられたグリーン電力を使用しています(CO₂排出量は、『Printing Goes Green』により算出)。

本印刷は、視認性、判読性に優れた書体であるユニバーサルデザインフォントを採用しています。

リサイクル対応印刷物



グリーン電力の使用



グリーンプリンティング



ノンVOCインキ



FSC森林認証マーク



本レポートの制作にあたり、環境への配慮を行っています